

平成25年政策評価結果報告書

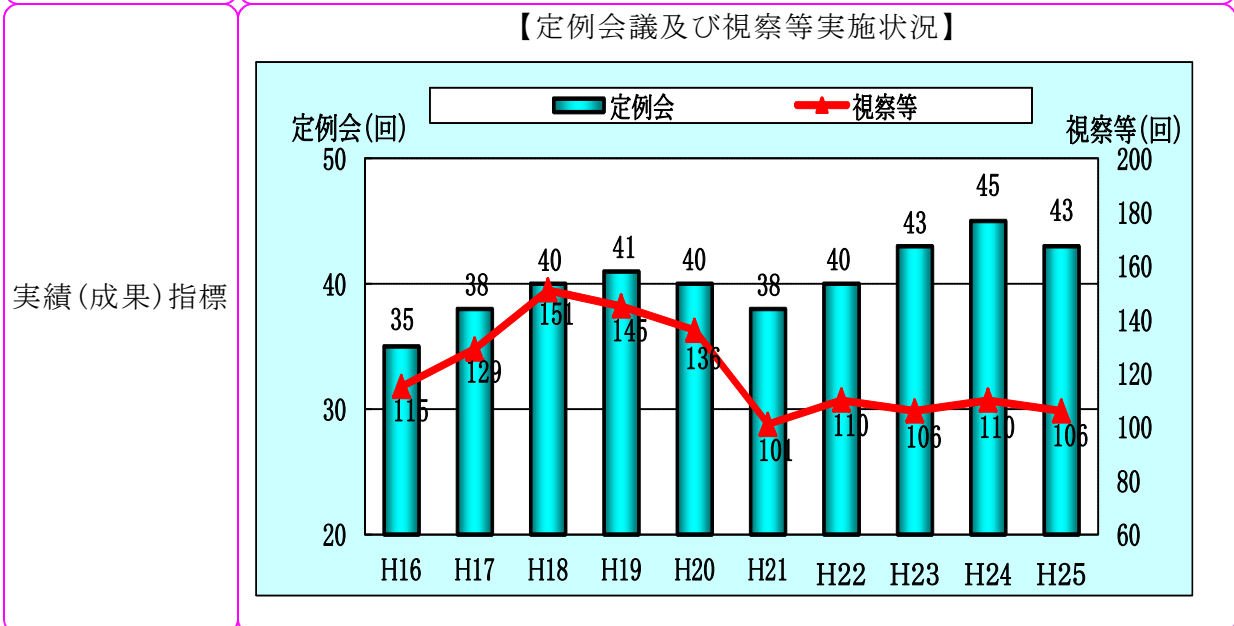
基本目標	警察行政の透明性の確保と自浄機能の強化
施策名	公安委員会の管理機能の充実と活性化に向けた補佐機能の充実
施策目標	公安委員会の管理機能の充実と活性化

実績(成果) 公安委員会では、定例会議を43回開催するとともに、警察業務の視察、意見交換会及び警察行事への参加等を63回行い、延べ106回の活動を実施しました。また、管理機能の充実を図るため、警察改革の精神の徹底のために実現すべき各種施策等の推進状況について適宜報告を受け、点検・指導を行ったほか、県下12警察署へ赴いて総合監察を視察し、第一線警察の実態や取組状況等を確認するとともに、業務管理が優秀な警察署に対し、表彰を実施しました。

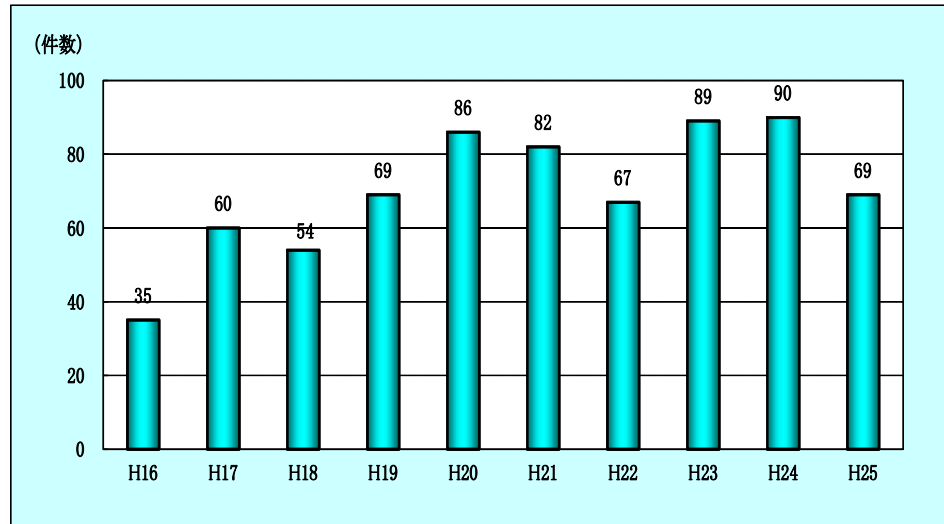
推進結果 公安委員会に対する補佐機能の充実

- 警察業務を把握するための活動に向けた取組
公安委員会が警察業務の理解を深めるために実施している視察、他機関を含めた意見交換などの各種活動に当たり、円滑な実施に向けた関係機関等と緊密な連絡調整を図るなど、公安委員会の活発な活動の補佐に努めました。
- 的確かつタイムリーな報告・説明の推進に向けた取組
重要な事件、事故等の公安委員会への報告、説明については、必要に応じ、口頭による速やかな報告を行うとともに、定例会議にて詳細な説明を行うなど、迅速かつ的確な対応に努めました。
- 苦情申出に対する取組
苦情申出に対する適正な調査と速やかな報告に努めました。また、平成25年中に受理した苦情申出について検証し、公安委員会に報告を行うなど、業務の適正な推進に努めました。

【定例会議及び視察等実施状況】



【公安委員会宛て苦情の受理件数】



参 考 指 標

施 策 の 効 果

公安委員会に対し積極的な報告や提案を行うとともに、公安委員会による警察業務の視察など、その活動に当たり、積極的な補佐業務を推進しました。
その結果、委員の警察活動に対する理解が深まり、公安委員会の管理機能の充実・活性化が図られました。

今 後 の 課 題

社会情勢の複雑多様化・犯罪の広域化が進むなど、警察に対して新たな治安問題への対応が強く求められる今日、公安委員会では、その管理機能の充実と活性化に向け、様々な活動に取り組んでいるところであり、今後も補佐機能の充実を図っていく必要があります。

方 針

公安委員会活動の更なる充実・活性化に資するため、県警は公安委員会に対し、的確かつタイムリーな報告に努めるとともに、委員の活動が円滑に実施できるよう、補佐機能の充実に向けた取組を進めてまいります。

施 策 主 管 課
政 策 評 価 担 当 課

総務部総務課
総務部総務課